

○“ことば”に関する三つの特徴

1. ことばの_____ (1a)

▶「初めに」

※創世記 1:1

「初めに、神が天と地を創造した。」

▶「あった」(ギリシャ語：未完了形)

※ヨハネ 8:58

「イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」

※コロサイ 1:17

「御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

2. ことばの_____ (1b)

▶ユダヤ人にとっての“ことば”

1) 神様の_____

※創世記 1:3

「神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。」

※詩篇 33:6

「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口のいぶきによって。」

※詩篇 107:20

「主はみことばを送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」

2) 神様のご自身を_____

※創世記 12:1

「主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。」

※エレミヤ 1:4

「次のような主のことばが私にあった。」

※エゼキエル 1:3

「カルデヤ人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルにはっきりと主のことばがあり、主の御手が彼の上にあった。」

※マラキ 1:1

「宣告。マラキを通してイスラエルにあった主のことば。」

▶ギリシャ人にとっての“ことば”

1) あらゆる物事の_____に存在する力や法則

哲学者ヘラクレイトス：「誰も同じ川に二度入ることはできない。」

ストア派：「星々をその軌道に留めているものは何なのか？潮の満ち引きを引き起こしているのは何なのか？朝夕が順序を狂わせずにやってくるのはどうしてなのか？季節が定められたときに巡ってくるのはなぜなのか？…すべての物事は、ロゴスによって支配されている。ロゴスは、世界を混沌ではなく秩序あるものにする力であり、世界を完璧な秩序のもとで動き続けさせる力である。」

※ヘブル 1:1-2

「神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。」

※コロサイ 1:17

「御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

3. ことばの_____ (1c-2)

※ヨハネ 17:24

「父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。」

※ヨハネ 10:30

「わたしと父とは一つです。」

※ヨハネ 14:8-9

「ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。…」

「ああ、祝福された御子。恵みがあなたの栄光を奪い、恵みがあなたを天から降ろし、恵みがあなたに言葉で言い表せないほどの罪と呪いの重荷を負わせました。恵みがあなたの心の内にあり、恵みが血を流すあなたの脇腹から溢れ出しました。恵みがあなたの涙にあり、恵みがあなたの祈りにありました。恵みが茨の冠をかぶったあなたの額から流れ、恵みがあなたを貫いた釘と茨と共に現れました。ああ、ここに計り知れない恵みの富があるのです！罪人を幸せにする恵み。天使たちを驚かせる恵み。悪魔を驚愕させる恵み。』(ジョン・バニヤン)